

夕刊日八十月五



定額一圓五錢... 電話六三〇番

李官堡の激戦と

大越中佐の戦死に就て (三)

岡本少将閣下御前講演

愛兒等へ... 一、愛兒等よ、父は愛兒等と再び物語ること、遊ぶことも爲し得ざるなり...

又生存者よりも聞きましただく... 『岡本も死んだし』と云ふ御言葉が度々出ました...

東京市本郷駒込追分町 (茶代不用) 上野驛ヨリ (自動車約五分) 電車約十五分 電話(小石川)三二六五番

外科 X光線科 性病科 外科 平町田町 安齊外科醫院 電話四七五番

セメント 壁用材料 コールタール 代理店 西村屋薬舗 平町二丁目電話三二

炭石 スカゴ 皆様方がよい品をお求めなら 電話三七番 阿部石炭商店

旭硝子株式會社製品 板ガラス 硝子食器 松崎硝子製作所 電話一四二番

鳥の油を!!! 揚物其他凡ゆる食用に 滋養豊富な 鈴木鳥肉店 電話六五四番

木村病院 院長 木村寅次郎 電話一六四番 産婦人科 内臓外科

専門 内科一般 川井内科診療所 電話一八一番 女醫 川井安子

クワ不足から 春蠶は減少か

成繭糸量を憂慮

石城郡内に於ける春蠶は早きは既に二眠に入つたが飼養量を聞くに
早春以來 氣候が一般に不順であり且つ養蠶業の不況により最近二ヶ年間は打ち續き桑園の施肥が思ふやうに行届かぬ爲め一割乃至二割の減収が豫想せられ甚だしきは三割減収を憂慮されて居るそののみならず最近

健康保険 表彰傳達

本月二日郡山市公會堂に於いて行はれた本縣健康保險協會總會の席上、健康持續被保險者、優良事務員並に保険料納入成績優良等の故

流石は名組頭

留守中は
火の用心 頼むと

滿洲行の感想

平消防組頭井上茂作氏が縣參事會員の在滿將士慰問團一行と共に渡滿するは昨報の如くであるが平町を廿四日出發豫定の旨記載せるは誤りにて廿一日午前八時四十五分平驛を出發渡滿の途に着く由にて井上氏は語る
『滿洲には海城、遼陽、奉天、公主嶺、長春の各地に第二師團司令部を始めとし各聯隊が多數駐劄して居ります此等將士に對し縣民を代表し慰問の
使命を 果すことは洵に名譽の次第であると考へ

優漁船主

豊間で表彰

石城郡豊間村役場では去る十六日午後二時より役場内に於て同村の昨年度に於ける

を以つて表彰された百餘名のうち當日出席し得なかつた左記平署管内の十六名に對して本日午前九時より平署會議室に於いて表彰及び賞品の傳達式を舉行した
吉村製綿工場丹野力藏
菅本製綿工場草長トメ
鈴木製材所志賀二男 岸製材所小野長松 越賀炭礦金子ナミ 大平製材所比佐秀吉 平製氷小名分工場佐藤美代輔 齊藤昌幸 隅田川炭礦高萩政春 小野倉之助 長谷川浩太郎 東洋捕鯨小名濱出張所武藤治郎 三郎 遠山稻吉 平活版所鈴木猪之助

遠藤九品寺住職が 境内に無料托兒所

甘餘名收容の見込み
農繁期の手助けにと

平町仲間町九品寺住職遠藤心光氏は最近農繁期に入つたので同寺附近並に平窪村の一部に於ける各農家の幼兒を無料托兒所を境内に自費を以つて開設する事となり既に專屬乳母として仲間町若松アサ子、北目町菅野アイの兩氏を囑託また主治醫としては清水、大森兩醫師の快諾を得來月十二三日頃から開設の運びに至る管で廿餘名を收容し得る見込みである

競技に出場前 先づ健康診断

磐城高等女學校各運動部選手は今秋九月安積高等女學校に於て催される縣下高等女學校對校競技會に出場すべく近く練習を開始するが此に先立ち來る二十一日放課後健康診断を行ふと

柔道出場選手 平商明日決定

平商業學校柔道部にては既報の如く來る二十二日双葉中學校に開催される濱三郡中學校柔道大會に出場すべく目下猛練習中であるが明日午後一時より指導者及幹事協議の上出場選手を決定すると

鑑賞資料 平各校が練習

平町各小學校にては福島師範附屬小學校の鑑賞室に鑑

初夏來る

緑の丘！
静かな水郷を尋ねる……
初夏のピクニックに
一層愉快なMSカメラ
素的に良く寫るので
大評判……

MSカメラ相談部新設

今回皆様の御便宜を計りMSカメラの相談部を新設致しました、今迄御振りになつた寫真でよく出来なかつた方又はこれから御初めになる方で御解りにならぬ方はどんな事でも御遠慮なく御相談下さい、皆様の良く御解りになる迄演習して御教へ致します

- 小型判カメラ 附屬品附 金五十錢より各種
- ベスト判カメラ 同 金貳圓より各種
- 名刺判カメラ 同 金四圓より各種
- MSカメラ特約店

いづみや玩具店
カメラ部
平 驛 前

江戸前料理
御家庭……御膳二人以上 圓五品附
松 一人前 一圓廿錢同
竹 同 一圓五十錢同
梅 同
ゼヒ一度御試食下さい
仕出し 錦水
電四五四番

耳鼻咽喉科専門

増田醫院
平南町 (電話四八二番)

親は食はずともと 欠食生徒少し

保護を要する児童約六十名 是れが救済に全力を擧げて

保護者會が對策

平町第一、第二、第三各小學校四千名の児童につき特に保護を要する児童を調査したがその結果家庭貧困なるため實に同情に價する児童約六十名あることが判明した、その内本年度四月入學の尋常一年生にも多少ある見込にて如何に世は不景氣のどん底にあるかを如實に物語つてゐる、保護児童家庭の多くは何れも其の

平町の小學校が 聯合して學藝會

保護者會總集會の日に

日暮しの日雇業、飴賣り、駄の行商、人夫、車夫等の中には街道に笛吹く按摩、河原に働く砂利採取人夫、さては職なきに苦しむ労働者尙甚だしきに至つては一人の母親が雑巾さしをして四人の子供を養ふと言ふ聞くに涙を催す家庭が多く児童の晝飯さへ持たされぬ哀れな親もあると言ふ、しかし

馬飛びで 手首を折る

平町字南町渡邊花屋の息第一小學校高等科第二學年生徒渡邊美代志(一七)君は昨日午後十二時頃校庭で馬飛びの遊戯中過つて轉落兩方の手首を折り直ちに松ヶ岡公園下桑原整骨院に入院應急手当を受けたが全治迄には約

れ直ちに判事より懲役一年二ヶ月言渡された

朝鮮入營歡送

既報 來月一日朝鮮十九師團下に入營すべき紺屋町瀬谷新平久保町永山一、同沼田秀夫月見町大竹徳義の四氏は來る廿一日午前八時四十五分平驛發上列車にて入營の途に付くので町役場軍人分會青年團は協力して歡送をなす筈

飴の誘惑

幼女迷ひ兒に

石城郡好間村大字下好間字中島二二廣松二女勢沼トシ(五)は母親と共に親戚に當る平町紺屋町石井方に宿泊して居り今朝午前八時半頃一殘銅貨を持つて附近へ出掛て行つた儘姿を見せぬので誘拐されたのではないかと平署に届出た處當人は飴賣りの跡を追ひ正午頃鎌田地内に迷子となつて居たのを草野染物店にて引取り保護を加へて居た事判明直に親元に引渡された

リヤカ賊

懲役一年二月

石城郡内郷村大字白水字廣畑五十二番地無職前科三犯山後初太郎(四九)が昭和六年十一月より本年五月六日迄の間平町田町齊藏末吉其他より自轉車リヤカー十八臺價格二百圓餘を窃取せる窃盜事件は昨日午後三時より平區裁判所に於て關口判事係り上田檢事立會の下に公判開廷事實審理の結果檢事より懲役一年六ヶ月求刑さ

明日のラジオ

十九日

報豫氣天 今晚も明日も 北東の風雲の 見込み

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 國際善意デー 東京ラヂオオーケストラ指揮篠原正雄
- 後七、三〇 講演「夏と電氣」工學博士太刀川平治
- 後八、〇〇 ゴアイオリン 獨奏 諏訪根自子
- 後八、三〇 哥澤 哥澤芝 金社中
- 後八、五〇 國際オリムピック派遣選手應援歌發表 演奏會實況 大阪朝日會

明日の部

- 前九、一〇 料理献立「豚肉の燒賣」中村光三
- 前一〇、三〇 家庭講座 「家庭に於ける子女の教育」二 高島平三郎
- 後一〇、五〇 チェロ獨奏 一柳信二 ピアノ伴奏 一柳光子
- 後一、一〇 運動競技「六

頼まれたと偽つて

白米横領

石城郡下小川村字五平久保生れ多島三郎(九)は本月五日同村字柴原佐藏清作方に多島の隣家植野義重(三九)が四斗入米六俵を預入れてあるのを開込み植野の依頼であると偽稱して一俵を受取り他に轉賣した事發覺目下平署で取調中

災害防止の訓練

安全週間に實施

標言印刷物の配布 一、安全講演會災害防止 映畫 一、災害防止並に災害輕減の訓練を實施する爲め 警火防止、避難、救護等の講習

各方面で種痘

石城郡内郷村磐城炭礦では十七八の兩日全従業員の種痘を小學校にて行つたが鹿島村にても來る廿日廿七日の兩日に亘つて全村の種痘を役場内に於いて行ふと

- 平職業紹介所報告 求人部 回 求人の部 △女中、二十迄 尋卒 給

藤沼醫院

平町紺屋町 電話七〇五番

- 料面談(平町某) △農夫、四十五以下 尋卒 月八圓位(飯野村某) △農工見習、十六才 高卒 仕着小使(平町某) 回 求職の部 △農夫、二十六才 高卒 給料面談(磐崎村某) △トラツク助手、二十五才 尋卒 給料面談(西白川郡某) △コック、二十六才 尋卒 給料面談(好間村某) △看護人、二十八才 尋三 給料面談(平町某) △土工夫、三十四才 尋四 給料面談(山形縣某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第五十三席 眞庭念流達人櫻井五助

潔く腹を切れ

村上主殿は若黨七郎次がどうやら遠藤仁右衛門を殺した事を知つて居るやうに思はれる、金を落したを好機としてこれを引捕へて打叩き、其上土藏に閉籠め餓死させるか、但しは斬つて捨んものと憐れ思つてゐる内に逃げてしまつた、逃がしたは女中のおかめの所爲と知つて是を責めて七郎次は何處に居ると詰問したが知らぬ存じませんと云ひ帳るばかり、憎いやつと怒つたがさて此女を殺しては詮議の手がかりを失ふ、どうしたものかといふに頭を痛めた、折しも玄關にて案内を乞ふ者がある、夜中のこと、雪洞を點けて主殿自ら出てまゐると其處に居るは櫻井五助

主「これは櫻井、何ぞ用事か」

と横柄に云つたが、主殿は近侍頭として無役の櫻井より資格は上です
五「お尋ね申す事あつて夜中ながら罷り出ましたか」
主「左様か此方へ通んなさい、當時は主人でなイヤどうも不自由いたし居るレ六藏」



六「ハイ何だね、もうわしは寝ます」
主「馬鹿だナ此奴は來客だ茶の仕度をしろ」
と吩咐け庭を前に見た八疊の書院に併れて來た。此處には行燈を點してあるそ

こへ六藏は茶を搬んで來た
主「どういふ用事かナ、も大分更けて居る手短に其用件を話しなさい」
五「主殿殿其許にお尋ね申すは伯父遠藤仁右衛門の事にござる」
主「ナニ遠藤殿の事にて拙者に尋ねる事があるぞ、そ

れはどういふ事か」
と答へたが目は次第に陰しくなつて來た、櫻井五助は一刀を膝下に引付け
五「主殿殿其許は如何なる宿意あつて遠藤を斬つてすてたか、其仔細を承はりた、イヤお控へなさい伯父に討たれべき不調法がござらば其許の爲に横死いたせばとて決してお怨みはいたさぬ、先づ其次第を承はるであらう」
村上はこれ聞いてアハ……と笑ひ

を斬りすて遠藤殿の怨みを晴らした、然すれば貴公より禮を云はれるが當然、怨みがましき事を承はるは儲も意外」
五「黙れ、汝が伯父を殺したに相違無い、證據あつて參つた事だ、知らぬとは云はせぬぞ」
主「何に證據ある事だと其證據を示せ、これへ出せ」
五「望みに任せ見せて遣はす、しかもこれは生きた證據だぞ、七郎次これへ參れ……」

と庭に對つて申した時に南天の植込みよりそれへ出て來たは若黨の七郎次、主殿はこれを見るとハツタと睨み
主「この横道者め、主人の金子五十兩を横領爲し剩へ當家を逐電いたし其罪狀を眩さん爲主人を死地に陥れんとすとは不屈至極、ニイツ其處退くナ」
柄に手がかゝつた其小手をビタリと抑へた五助
五「待て、この七郎次を斬つてすて證據を消さんとは奸智に長けた奴だ、これ七郎次貴様が目撃いたした事を申せ」
七「旦那様、貴方が遠藤様を森川様のお住居で殺した事は見て居りましたぞ、然すれば知らぬとは云はれますまい潔く白状なすつて尋常の勝負をなさい」
主「黙れッ其方は主恩を忘却いたして遠藤の横死いたしたはこの主殿のいたせしことなりと櫻井に申し入れるとは虎狼に等しき奴、不

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
電話一七〇

大塚の
學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

大塚の
學生靴!!!
耐久新製品
編上靴 六・〇〇
半靴 五・〇〇
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……

御料理 一の井
電話一六七
開店 五月十六日より
平町南町元大和家を改築
ランチルム 一の井
電話一六七

兩殿下御買上の
御料 鹽豚
田町 三二二三屋
電話三二三番

器灸温ムウチラ
表價定
金拾圓 藥及特効五週間分付
金拾圓 藥及特効五週間分付
金拾圓 藥及特効五週間分付
（説明書呈）

市原醫院
平町田町(電話一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時
醫學博士名推獎
胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかず無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器